



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.29

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“すばらしい仲間を持とう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持とう
- ③ フィロソフィを持とう

例会記録 (2017. 2. 24 (金)) 通算3,113回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

3月3日 (金)	3月10日 (金)	3月15日 (水)	3月24日 (金)
卓話「自己紹介」 中山英之 会員	卓話「経営者に役立つ 保険情報」 三好哲彰様 (ファイナンシャルプランナー)	高砂青松RCとの合同 移動例会 (17日分) 卓話「プロ野球選手の光と影: 阪神タイガース2軍取材日記」 岡本育子様(アナウンサーライター)	卓話「自己紹介」 鎌谷雅彦 会員

◆出席報告

本日2月24日 会員数39名 出席者30名 出席率 83.33%
前々回2月10日 会員数39名 修正出席者38名 出席率 97.43%修正

◆MAKE-UP

後藤 純次会員 e-CLUB 2月23日(2月24日)
桂田 重信会員 e-CLUB 2月22日(2月24日)
西田 秀雄会員 e-CLUB 2月21日(2月24日)
西田 秀雄会員 e-CLUB 2月21日(2月12日)
西田 秀雄会員 e-CLUB 2月21日(2月10日)
落合 計夫会員 e-CLUB 2月16日(2月12日)
鎌谷 雅彦会員 e-CLUB 2月17日(2月17日)
稲垣 直人会員 e-CLUB 2月16日(2月24日)
後藤 宗久会員 e-CLUB 2月15日(2月10日)
石垣 政昭会員 e-CLUB 2月10日(2月24日)
山川 晃禎会員 e-CLUB 2月14日(2月17日)
堀 直樹会員 2015~2016年度地区大会 (2月12日)

◆お祝い

- 出席100%祝
稲垣 直人会員 2年
- 結婚記念日祝
後藤 宗久会員
- 配偶者誕生日祝
大村 泰司会員(郷子様)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

アートサロン内垣様……例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。
中野 哲郎会長……2月12日、親睦家族例会で、イタリアンレストランとCATSを楽しめました。高木委員長はじめ、みなさま、ありがとうございました。
落合会員、本日の卓話よろしく申し上げます。
森本 幸吉会員……落合会員、本日の卓話よろしく申し上げます。
大村 泰司会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。
後藤 宗久会員……結婚記念祝を頂きありがとうございます。
早退4名

◆幹事報告（3, 1 1 3回）

〈国際ロータリー日本事務局より〉

◎『2016年度版手続要覧』

『2017年3月のレートのお知らせ』

〈ガバナー事務局より〉

◎『在籍、連続出席などの表彰関係のご確認お願い』

◎『補助金プロジェクト見学訪問のご案内』

実施クラブ：尼崎東ロータリークラブ

◎『地区大会についてのご連絡』

◎『地区大会物故者リスト』

◎『2017-19年度ユネスコ水教育研究所奨学金の申請書のご案内』

◎『2017年地区研修・協議会のご案内』

◎『ガバナーノミニーマニフェストのお知らせ』

〈例会変更のお知らせ〉

◎高砂青松ロータリークラブ

・3月8日(水) 会場変更 → 高砂市文化福祉保健センター2F 多目的室2

・3月15日(水) → 高砂RCとの合同例会 ウェディングパレス鹿島殿

◎姫路南ロータリークラブ

・3月13日(月) 職場例会 於：姫路市医師会館

「健康の秘訣は口にあり」 高石佳知 会員

・3月20日(月) 休会

〈その他〉

◎加古川中央ロータリーより

『東播第2グループI.M.ご出席のお礼』

◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より

『ハイライトよねやま203号』

◎第1回日本RYLAセミナー大会委員会より

『第1回日本RYLAセミナーロータリアン参加のお願い』

◎TNK東日観光株式会社より

『2017年国際ロータリー年次大会（アトランタ大会）参加旅行募集案内送付のご案内』

◎神戸中ロータリークラブより

『創立二十五周年記念例会・祝宴のご案内』

◎兵庫県立考古博物館

『開館10周年記念/加西分館開館記念特別展「兵庫の古鏡」の開催にかかるチラシ等の送付について』



豊田克義幹事

◆会長の時間

日本のものづくり、「不可能を可能にした零戦の話」

零戦の話をする前に当社の「ライバルは不可能」というフィロソフィの項目がありますので、聞いてください。

私達は、企業間競争の中で経営しています。同業他社をライバル視することは必要ですが、究極のライバルとは、私達自身の弱気と時間との闘いなのです。

やる前から、「難しい」と消極的に受け止めていては、困難を乗り越えていくことなどできません。ゆえに、ライバルは私達が勝手に思い込む「不可能」、つまり自分なのです。

私達は、同業他社が不可能だと投げ出した仕事で「ここで成し遂げれば、きっとお客様は飲んでくださる」「お客様のために絶対にやり遂げてみせる」と強い気持ちで積極的に考働し続け、中野プランツの総力を挙げて取り組めば、どんな志事でもできるのです。

決して「この志事は難しいからできない」とは想わず、無理難題こそ私達の出番だと受けとめ、意志の弱さやマイナス思考に打ち克ち、どんな困難でも精一杯努力し続け、妥協しない強い心で取り組めば、それまでの努力が不可能を可能にしていくのです。

以上が当社のフィロソフィですが、今回も会社のことで話をするより百田尚樹の雑談力から話をします。

皆さんも「永遠のゼロ」の本か映画を見られた方もおられるかと思いますが、その空中戦を想像しながら聞いてください。

飛行機の機体に直線がない奇跡の戦闘機、零戦の話です。太平洋戦争当時の戦闘機で大切なものは、「格闘性能」と「速度」です。格闘性能というのは、敵の戦闘機を空中戦で落とすために必要な性能で簡単に言えば小回りがきくことです。ぐるりと相手の後ろに回ることができれば空中戦に勝つことができます。もう一つのポイントである「速度」の重要性は言うまでもないと思います。相手の戦闘機よりも早く飛べるといことは、大変なアドバンテージです。ところが、ここに問題があります。というのは実は飛行機の性質上、格闘性能と速度は相反するものだそうです。格闘性能を増せば速度が出にくくなり、速度を選べばその逆になるそうです。

それで当時の先進国の戦闘機はどちらを優先するかで設計しました。でも旧日本海軍はメーカーに他の戦闘機を凌駕する格闘性能と他の戦闘機よりも速い速度を要求しました。しかも、当時としては常識外れの航続距離の要求までありました。この不可能な要求に三菱重工の若き飛行機技師、堀越二郎は敢えてこの飛行機の設計に挑み、なんと海軍の要求通りの戦闘機を作り上げたのです。しかも航続距離は当時の先進国の戦闘機の数倍もありました。当時、飛行機はあらゆるテクノロジーの最高峰でした。そこに日本人がいきなり世界最高級の戦闘機を作り上げることに成功したのです。空中戦ではアメリカの戦闘機を圧倒し続けたそうです。連合軍は驚くような指令が出されたそうです。それは零戦と遭遇した時は任務を途中で放棄してもいいということでした。逃げろということでした。



中野哲郎会長

零戦は日本のものづくりの伝統が生んだ最高の兵器でしたが、ここに欠点がありました。ものづくりにこだわりすぎた結果、大変な工程と時間がかかったことです。たとえば「沈頭鉦」という鉦の頭がでない鉦を考えたり軽くするために骨組みに穴をあけたり、最高性能を得るために機体にすべて微妙なカーブをつけたりしました。対するアメリカのグラマンは直線ばかりで、機体には鉦の頭が出ています。これでは零戦と勝負にならないということは分かっていたと思いますが、そうしたのが「作りやすさ」を考えてのことでした。熟練工でなくても作ることができ、大量生産がしやすいように設計されていたのです。一機一機の性能は劣っていても数で圧倒すれば勝てる。グラマンはそういう思想で作られた量産用の戦闘機でした。それに対して零戦は日本的な徹底したものづくり精神で作られた芸術作品のようです。

いろいろ考えさせられますが、自動車にたとえると日本のものづくりは今や品質のいいものを安く作れているのではないのでしょうか。世界に目を向けると、まだまだ安くはないかもしれません。

最後に、私が言いたいのは、「頑張れMRJ!!」

◆本日のプログラム

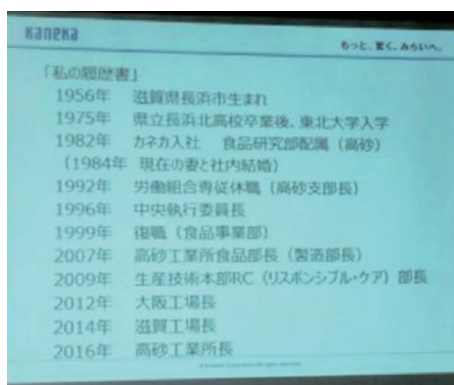
卓話「自己紹介」 落合計夫 会員



谷川こずえ プログラム委員長



落合計夫 会員



会 長 中野 哲郎 幹 事 豊田 克義
 例会日時 毎週金曜日12時30分より
 高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
 例会会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/